

6階ユニット

看護師長 鈴木 薫代

1 部門目標

エビデンスに基づいた個別性のあるシームレスな看護を実践する

2 業務体制・スタッフ

内科外来・病棟（消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科 53床）

受け持ち制、固定チームナーシング、モジュール型、7対1看護体制

看護師 26名 看護補助者 3名

3 業務実績

平成 29 年度の在院患者数は 12,570 人で、一日平均患者数は 34.4 人
病床稼働率 65.0% 平均在院日数 9.4 日 死亡件数は 49 件であった。

4 1年間の総括

エビデンスに基づいた看護の視点で、勉強会を行った。今年度は、基礎的知識を増やす機会とし、講師もスタッフが言い、実践に活かせるような内容で開催した。看護師同士で教え合うことで、教える側も深く学ぶ事ができた。

多職種とのカンファレンス記録については 83%記録されており、看護記録の監査を 5 症例行い、監査結果を提示することで病棟の傾向や課題を共有できた。また、RCA 分析を行い、日々の実践を振り返ることで、次の実践に活かせるようにした。以上のように、各個人が個別性のあるシームレスな看護を実践することができるよう、まずは基礎体力をつけることに力を注いだ。

5 今後の目標

個別性のある看護提供では、前年度以上に多職種カンファレンスを記録に残すことができた。個々に応じた患者を支援するための力を身につけたので、次年度は、退院後の生活を見据えた看護を実践していく。